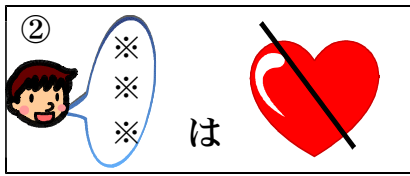
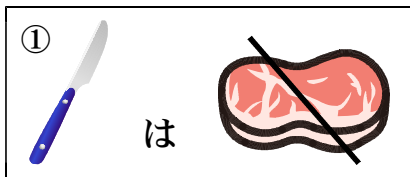


暗号

すでに退職なさいましたが、愛知県で小学校教諭をされた平光雄（たいら みつお）先生の著書「子どもたちが身乗り出して聞く道徳の話」を読んでいたら、興味深い話がありましたので、ご紹介します。次の暗号①②は何と読むでしょう？



答え「①ナイフは肉を切り、②言葉は心を切る」と読みます。

以下、平先生の著書の要約です。「今まで、人の言葉で傷ついたことのある人はたくさんいると思います。その中には、そのときのことをいつまでもはっきり覚えているという人もいます。逆に、自分の言葉で人を傷つけたという人はそう多くはないようです。傷つけた人がたくさんいるのだから、傷つけた人もたくさんいておかしくはないはずなのに。

それは、嘘をついているのではなくて、自分でも意識しないうちに、『いつのまにか』人を傷つけてしまっていたことが多いということです。だから、傷つけられた人は傷つけた人のことを覚えているけれども、言った本人は全く覚えていないということも多いのです。

言葉というものはナイフと同じです。相手の心を切ってしまうことがあります。しかも、肉を切るのを無意識にやっちゃっていたということはないだろうけど、言葉のナイフは無意識であっても切れてしまいます。言葉は便利なもの。無制限に使えるものだけど、怖いものでもあります。怖いものだという自覚が大切。だから、ナイフを慎重に扱うように、切る前に慎重に切る場所を確認するように、言葉を発する前にちょっとだけ、自分で『だいじょうぶかな』と確認するような癖をつけていきたい。それが他人への配慮ということです。」

* * *

西小の子どもたちにはいいところがたくさんあるんですが、あえて課題と思われるところを申し上げます。言葉によるトラブルが結構発生していることが挙げられます。「○○君が、ぼくのことを××って言いました。」とか、「△△さんが意地悪なこと言いました。」という相談があります。言った本人はふざけ半分、ほんの冗談のつもりでも、言われた人は深く傷ついているということがあります。場合によってはいじめに発展することもあります。学校全体で言語環境を整えていく必要があります。そこで、6月23日の全校集会で、子どもたちに前述の平先生の暗号と言葉のナイフの話をしました。

6月は「心のきずなを深める月間」。いじめを許さない学校づくりを進めていきます。

7月の主な行事

- 1日(木) 委員会活動
- 2日(金) 授業参観・懇談会
- 5～7日 諸費納入日
- 5～9日 性教育週間
- 7日(水) 全校集会
- 15日(木) 租税教室(6年)
- 16日(金) 分館集会
- 20日(火) 1学期終業式
- 21日(水)～8月26日(木) 夏季休業日

1学期末授業参観

多くの人々が心待ちにしているものといえば、コロナの終息と梅雨明けでしょうか。子どもたちの場合はそれに夏休みが加わりそうです。1学期も残り一月を切りました。先日ご案内しましたとおり、7月2日(金)に学期末の授業参観と懇談会を実施します。公私共に忙しい折だと思えますが、お子さんの学習の様子をご覧にお越しく下さい。

懇談会では、担任からの「とっておきの話」があります。乞うご期待。また、最近子どもたちが直面しているSNSやオンラインゲームのトラブルに関して、保護者の皆さんにぜひ知っておいていただきたいことについて、PTA役員さん方から情報提供があります。どうぞお聞き逃しなく。

ご来校の際は、マスクと上履きをご持参ください。

「西小学校便り」は、本校のホームページにカラー版を掲載しております。また、学校経営方針や教育活動の様子を随時掲載しておりますので、併せてご覧いただくと幸いです。